

京城駅、ソウルの近代的感性を伝える

韓国鉄道の歴史は京仁線から始まりました。1900年、京仁線が南大門駅まで延伸し、木造で設計された駅舎は当時南大門停留所と呼ばれていました。その後、「南大門駅」から「京城駅」へと駅名が変更され、1925年9月には南満州鉄道株式会社によって、ルネッサンス式の新たな駅舎が建てられました。これが京城駅の始まりであると同時に近代建築の象徴となり、1947年には「ソウル駅」と再び駅名が変更されました。1950年の朝鮮戦争で施設の一部が破損するなどしたものの、胸の痛む歴史を耐え、近現代史を代表する史跡として今も同じ場所に立っています。

駅から日常の中の「文化再創造」空間へ

2004年にソウル駅舎が閉鎖され、2009年から2年間、京城駅建設当時の写真資料をもとに100年前の駅舎内部の様子を再現する復元工事が行われました。2011年8月夏、ソウル駅は1925年当時の京城駅の姿に復元されると同時に「文化駅ソウル284」へと生まれ変わり、ソウル中心エリアの生活文化芸術プラットフォームとしての役割を担っています。

過去、現在、未来が共存する

文化駅ソウル284は、過去と現在が共存し、未来に向けた文化生産の拠点となる空間で、100年近い歴史を誇ります。文化芸術を基盤とした多彩なプログラムを開催し、同時代の文化と大衆が出会って様々な層の交差点を生み出すプラットフォームの役割を果たしています。文化駅ソウル284は、文化ネットワークの中心駅という象徴性に加え、史跡第284号の指定を受けたことから現在の名称となりました。文化駅ソウル284は、我々すべてに開かれた文化芸術空間です。

営業時間
展示やプログラムによって異なる場合があります。

休館日
毎週月曜日、正月（お正月・旧正月）、秋夕当日は定期休館日です。

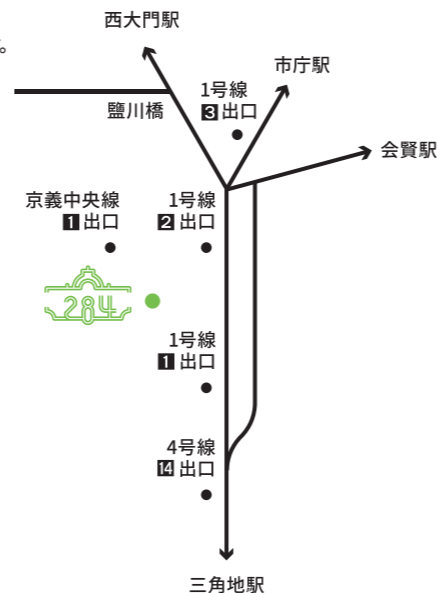
*月曜日が祝日の場合（振替休日を含む）は通常通り。業し、翌日の火曜日に休館いたします。

*展示やイベントのない場合は休館となります。スケジュールはホームページをご覧ください。

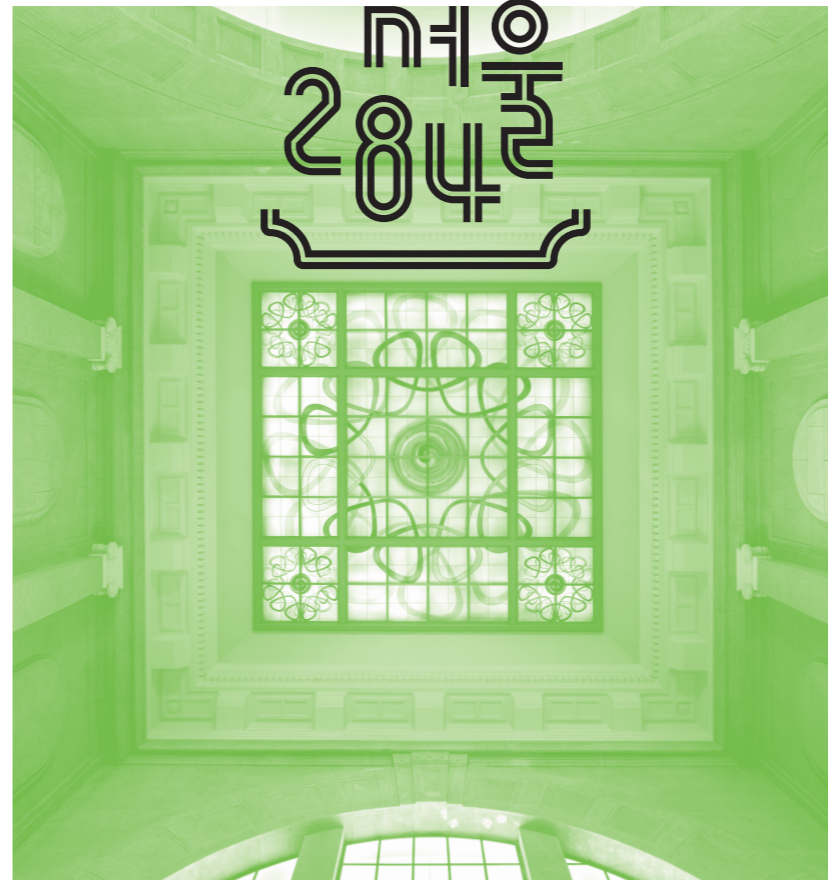
TEL 02-3407-3500

seoul284.org
instagram.com/culturestationseoul284
youtube.com/seoul284official

04509 韓国ソウル特別市中区統一路1
地下鉄(1,4号線)ソウル駅2番出口
京義中央線ソウル駅1番出口
(ソウル駅広場方向)
ソウル路7017からソウル駅広場方向



* 1階のインフォメーションデスクでベビーカーと車椅子のレンタル可能です。



日本語

文化駅ソウル284の足跡

1900. 7. 8.
南大門停留所営業開始

1905. 3. 24.
南大門駅に駅名変更

1923. 1. 1.
京城駅に駅名変更

1925. 9. 30.
京城駅(旧ソウル駅舎)竣工

1947. 11. 1.
京城駅からソウル駅に駅名変更

1957. 12. 30.
ソウル駅南部駅舎竣工

1969. 2. 14.
西部駅舎竣工

1975. 9. 18.
鉄道庁西部駅舎竣工

1981. 9. 25.
旧ソウル駅舎史跡284号に指定

2004. 4. 1.
KTX高速鉄道開通、旧ソウル駅舎閉鎖

2007. 7. 24.
韓国鉄道公社から文化財庁に管理移転

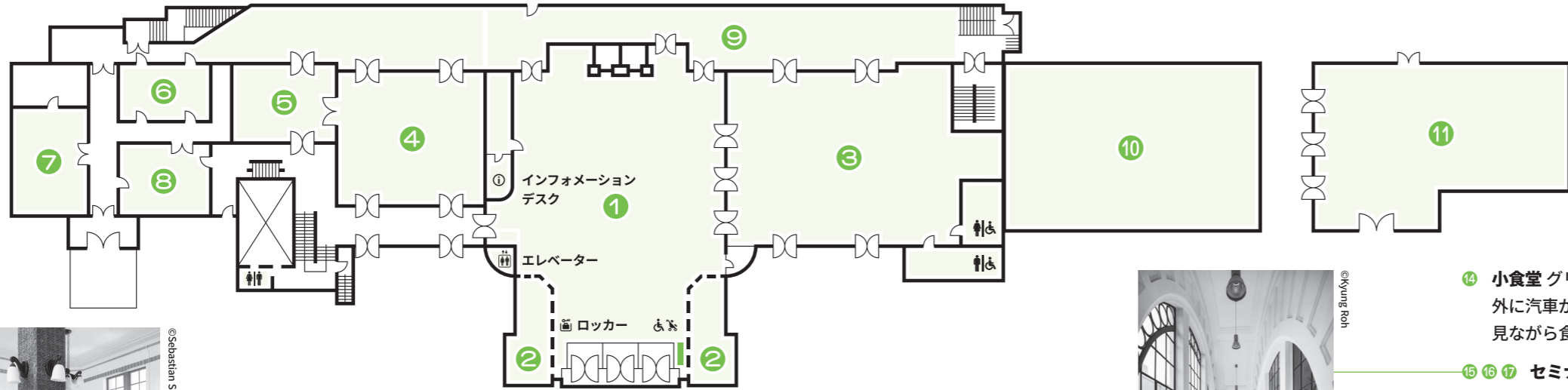
2009. 8. 26.
旧ソウル駅舎復元および文化空間化起工式

2011. 8. 8.
文化駅ソウル284完工

2011. 8. 9.
文化駅ソウル284開館

館内マップ

1F

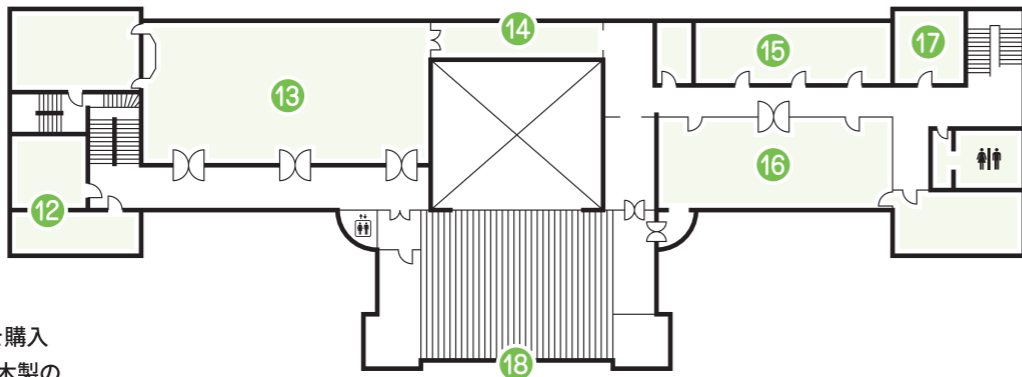


©Kyung Roh



©Sebastian Schuyser

2F



- ① **中央ホール** 石造建築の美しさを感じられる12本の花崗岩柱と東西に広がる半円形の窓、上部のステンドグラスが特徴的な空間。
- ② **券売所** 正門両脇に位置し、切符売場として使用されていた空間。
- ③ **3等待合室** 3等席の切符を購入した乗客が使用する待合室で、広場から誰でも出入りが自由であった。京城駅当時は、待合室の中に売店があった。
- ④ **1・2等待合室** 華やかな装飾が印象的な空間で、1等、2等の切符を購入した乗客のための場所。
- ⑤ **婦人待合室** 1等、2等の切符を購入した女性客のための場所で、木製のインテリアが目立つ。
- ⑥ **駅長室** 駅長が事務作業を行っていた空間。
- ⑦ **貴賓室** 格調高いインテリアと豪華な装飾を設えており、歴代大統領などの国家的要人が列車を待っていた空間。
- ⑧ **貴賓予備室** 貴賓に付き添う随行員のための空間。

主要事業案内

展示

旧ソウル駅の時空間的特徴を活かした企画展示を年2回程度開催いたします。工芸や建築、メディアなど様々なジャンルを網羅するコラボレーション展も年1~2回行っております。

* スケジュールの詳細は、文化駅ソウル284ホームページをご覧ください。

常設プログラム

空間ツアー: 1925年に建てられたソウル駅の駅舎は韓国最古の鉄道施設であり、近代の文化遺産です。解説員の説明とともに、旧ソウル駅の建築的・歴史的・文化的な価値を探り、文化駅ソウル284の建物内外を歩きながら、空間に込められた物語に出会うことができます。

* 文化駅ソウル284のホームページにて詳細情報の確認及び予約が可能です。

復元展示(常設展示): かつて理髪店や化粧室として使用されていた空間に位置する復元展示室では、旧ソウル駅舎の復元過程を一目で見渡すことができます。復元過程で収集された遺物や資料を通じて、文化駅ソウル284の歴史を紹介します。

* 展示及びイベント開催中のみ観覧可能です



©Kyung Roh

- ⑭ **小食堂** グリルの隣に位置しており、外に汽車が行き来する様子を見ながら食事を楽しめた空間。
- ⑮⑯⑰ **セミナー室・会議室・車掌室** かつて駅員の事務作業に使用されていた空間。

- ⑱ **擺撥馬(パバルマ)時計** 1925年京城駅が建てられたときに設置されたもの。その直径は約160cmと、1970年代後半まで韓国最大の時計として知られていた。

- ⑨ **西側廊下** 乗客らが列車に乗るまでに通る道で、待合室とプラットフォームを繋いでいた空間。
- ⑩ **TMO** 「旅行将兵案内所」を意味し、現在は訪問者のためのカフェスペースになっています。
- ⑪ **RTO** 手荷物受取所や在韓米軍輸送部隊の事務所として使われ、現在では公演やマーケット、講演など様々なプログラムを披露する空間として活用されている。
- ⑫ **復元展示室** 理髪店や化粧室として使用されていた場所で、文化駅ソウル284の歴史を知ることができる常設展示空間。
- ⑬ **グリル** 韓国初の洋食店。左手の調理室では、韓国初の食品用エレベーターを見ることができる。



©Kyung Roh